

№.8
2003年7月1日号

熊本県サッカー協会だより

発行／熊本県サッカー協会
〒860-0831
熊本市八王寺町9-60
TEL 096-334-5565
FAX 096-334-5568
発行者／◎広報記録委員会
石丸 捷一

第31回熊本県高校総合体育大会サッカー競技

大津高校 2連覇 延長でルーテルを下す



試合は、大津町運動公園球技場で行われ、七〇分の決勝戦はスコアレスで終了。Vゴルフ方式延長戦に突入した。

間での開催で各県代表がどのように成長しているかが楽しみな大会になりそうである。また、大津高校とルーテル学院高校の活躍を祈る。

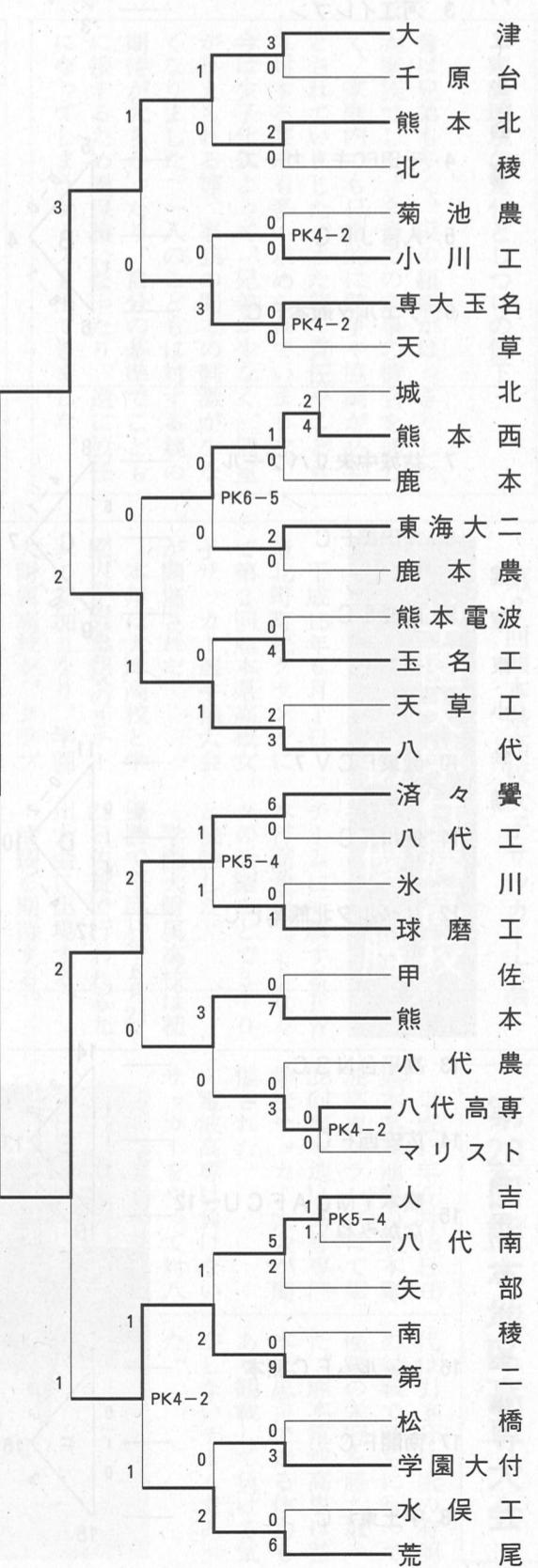
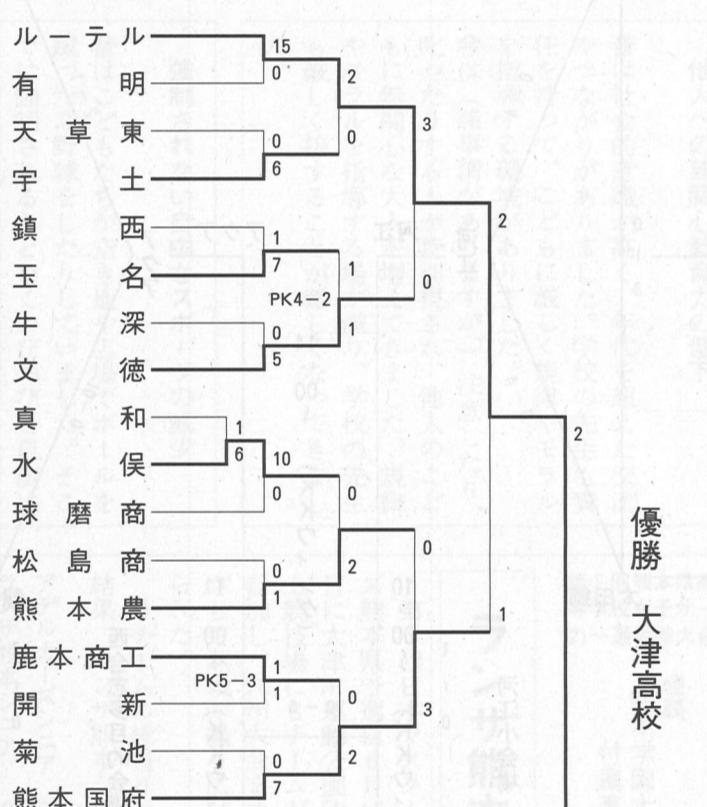
平成15年度、熊本県高校総合体育大会サッカーリーグ競技は、5月24日から熊本農業高校、能本商業高校、小川高校等を会場として一回戦が始まり、6月3日までトーナメント方式で行われた。

平成15年2月の県下高校サッカーリーグで初優勝したルーテル学院高校を筆頭に順当に勝ち上がった大津高校が前回の決勝戦の雪辱を果たし昨年に続き優勝旗

両チームともリズムを掴み、決定機をつくらるが得点には至らず、決着がついたのは延長戦前半の終了間際に右タッチラインからスローインから永田、水田と繋いで最後は、山内のヘディングシュートが決まり勝利をものにした。

両チームは、6月21日から佐賀県鳥栖市を中心とする会場で九州高校総合体育大会サッカー競技に出場する。

プリンスリーグの合



第27回全日本少年サッカー大会熊本県大会

熊本アクアサッカーラブ初優勝

会は7月28日から全国大会に出場する。監督の野田正一郎氏は分析。熊本アクアラブ創部6年目で初優勝を果たした。組み合わせたこと、監督の力がうまくやつてきた信頼関係など、チームの力がうまく蹴る、止める、運ぶなどの基本練習とキッズサッカーから一緒に決勝は接戦を制して勝った。決勝は接戦を制して勝った熊本アクアサッカーラブと河江イレブン。

前半3-0、後半も3-0で熊本アクアサッカーラブがクレブン、シャルムFCの4チームが勝ち進み、県民総合運動公園陸上競技場で準決勝、決勝が行われた。

そして4日目河江イレブンから河江小学校グランドなど7会場で行われた。

実際の試合は大会2に臨む選手の気持ちが感じられた開会式になつた。

その中で各チームからのチーム紹介や決意表明などがあり本大会に臨む選手の気持ちが感じられた開会式になつた。

大会初日は川上小学

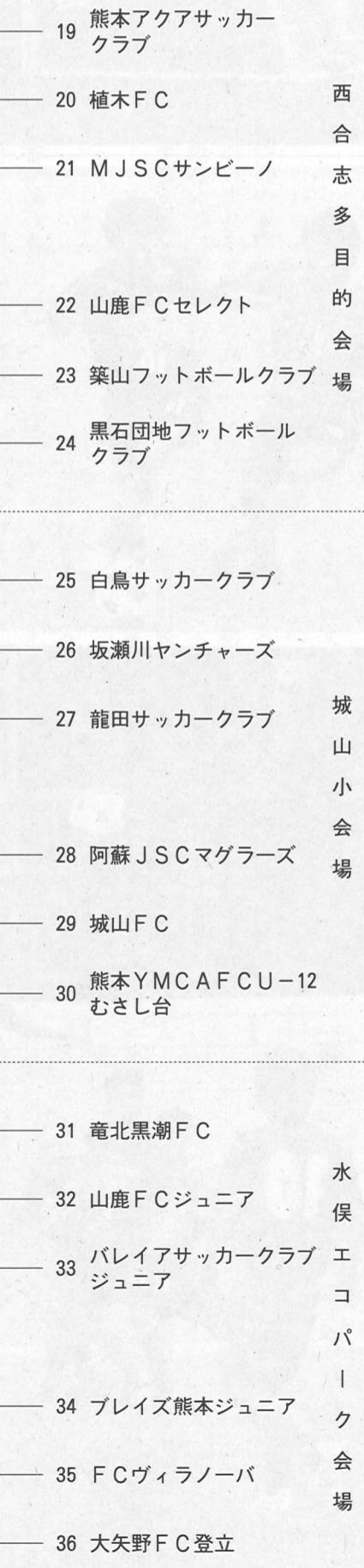
校体育館に36チームの代表者、大会関係者が集まり、開会式が行われた。

熊本県大会に出場したのは、各郡市大会の予選を勝ち進んできた36チーム。

5月19日、6月7日・8日、15日の4日間で行われた。

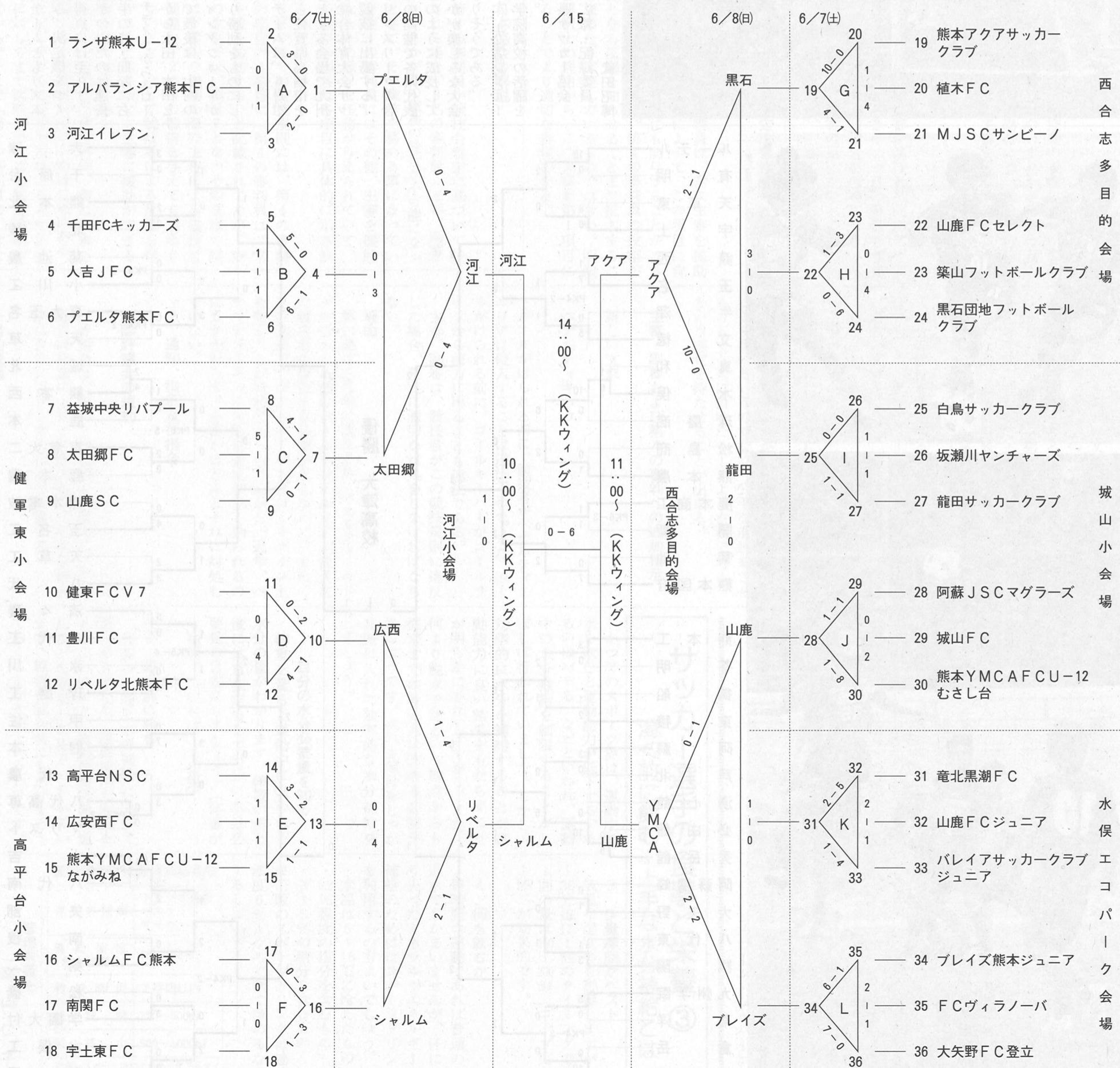
第27回全日本少年サッカーランド

※会場
第2日目(6月7日)
下図の通り
第3日目(6月8日)
西合志多目的G・河江小G
第4日目(6月15日)
KKウイング



*第2・3日目キックオフ予定

- ①10:00~
- ②11:00~
- ③12:15~
- ④13:15~
- ⑤14:30~
- ⑥15:30~



6歳以下のこども達をサポートするサッカーガイド

JFAキッズ(U-6)ハンドブック

日本サッカー協会より機関誌に同封されたキッズハンドブックがありますが日本サッカー協会聞くとJFAの会長(キャプテン)に川淵三郎氏が就任し、新たな組織として「キャプテン・ヘッドクオーリーズ(CHQ)」が設立され、JFA・日本サッカーの重点施策として「キャプテンズ・ミッション」を掲げ、日本サッカーの改革に着手した。と云うことです。JFAは、サッカーに携わるあらゆる人々が、楽しみ、幸せになれる様な環境を創り上げ、サッカーの普及に努める。

日本サッカーの将来を見据え、この改革を見据え、新生JFAのターンイングポイントとすべく、以下のミッションを、ミッション3に児童年代からの普及育成体制の整備(JFAキッズプログラム)があるために日本サッカー協会に登録してあるチームには機関誌と共にハンドブックが送付されたわけです。

熊本県内の70余のチームの皆様で御協力いただきますよう御願い申しあげます。本ハンドブックは日本サッカー協会技術委員の編集になつておりますが全国各地の皆様方の御協力が必要となります。熊本県でも全国に先駆けて取り組みましょう。皆様の御協力を!!

外遊びの減少・集団遊びの減少 随分変わってきました。

昔は鬼ごっこ、木登り等の外遊び中心。グループ(年令、性別の違った仲間)遊びの中で、喜び、熱中、成功、失敗が原動力となつて、からだ、精神、創造性、判断力、社会性が育てられました。大人の出る幕はありませんでした。

強制されない自由なスポーツの減少 昔はこどもたちが空き地や広場でボールを蹴ったり野球をしたりしていました。そこでは強制されることなくのびのびと自由にスポーツを楽しんでいました。今は空き地や広場の減少と、交通事情の変化にもなつて、自由な遊びの延長であるスポーツに変ってきました。

6才以下のこどもたちとは?

現代のこども事情

時代の流れの中でこども達を取り巻く環境も

随分変わってきた。

現代の子供の事情と題して色々記しましたが結論は社会に足りないものをスポーツは持つてあります。

6才以下のこどもたちとは?

次にこどもの心身の発育発達について考えてみましょう。こどもは小さな大人ではありません。その特徴を十分理解することが大切です。

本文は財團法人日本サッカー協会、CHQ発行のキッズハンドブックより、次号につづく

昔は兄弟も多く、縦の組織がはつきりした大家族でした。全員での食事の機会を通じて、家庭内でも日常的に競争や協調が必要となりました。また親の責任やこどもに対する要求も多く求められていました。今は少子化によって、兄弟が少なく、個室が与えられる等、家族の間での刺激が少なりました。一人のこどもに対する親の期待が大きかったり、自分の基準でこどもに接するため過保護になつたり、逆に放任になつてしまふケースも出てきました。

昔は社会的意識が高く、年代を超えた交流やつながりがありました。学校の先生も責任を持って、こどもに厳しく規律やモラルを指導する環境がありました。

今は(諸事情がありますが)注意したり、叱つたりする人が特別視され、他人のこどもに無関心な大人が増えました。規律やモラルを指導する場が減り、学校の先生も厳しい接することが難しくなってきました。

昔は全勝で初出場初優勝を果たした。

なお、優勝したランザ熊本シニアは8月2日、3日に宮崎市で行われる九州予選に出場する。全国大会の九州の出場枠は今年は2チームで来年が3です。

アーノルフは平成15年6月15日に大津町運動公園陸上競技場に3チームが参加し、九州大会をめざして熱戦が繰り広げられた。

3チームの総当りの結果、ランザ熊本シニアが3-2で優勝した。

アーノルフは平成15年6月15日に大津町運動公園陸上競技場に3チームが参加し、九州大会をめざして熱戦が繰り広げられた。

